

明日の大地

北海道新篠津高等養護学校

学校だより

令和元年度 第3号 10月25日発行

Tel 0126-58-3280

HP <http://www.shinko.hokkaido-c.ed.jp/>

新高祭『令和発の新高祭！新時代のまく開けた！！』 (家庭総合科2年 三宅 亜侑さん)

文化体育部長 須藤 栄子

学校最大行事「新高祭」が、11月8日(金)～9日(土)に実施されます。

気付けば昨年の胆振東部地震から一年が経ち、ここ新篠津では稲を刈るトラクターの音が心地よく、実りの秋を感じる季節となりました。道内でも未だ不自由な生活に苦勞されている方、台風15号や19号で大きな被害に遭われた方々もいらっしゃる中、いつもどおりに生活ができることに改めて感謝しなければならないと感じているところです。

「令和初めの学校祭」で、たくさんの元気と笑顔をお届けするために、練習を重ねた学年発表、趣向を凝らした学科企画や行列必至の製品即売会を計画し、皆様をお迎えすることを楽しみに準備をしております。目標をもって前向きに活動する生徒たちの姿をたくさんの方に御覧いただきますよう、生徒、職員一同、御来場をお待ちしております。

●新高祭1日目 11月8日(金)

- 8:35 開場 (保護者出入り口は生徒玄関)
 - 9:10～9:25 オープニングセレモニー
 - 9:25～ 部活動発表
 - 12:10 かくし芸大会、かくし芸大会表彰
- ※一般公開はいたしません(保護者、来賓のみの公開)

●新高祭2日目 11月9日(土)

- 8:50 開場
 - 9:20～9:50 1学年発表
 - 10:00～10:30 2学年発表
 - 10:40～11:10 3学年発表
 - 12:00～13:35 学科生製品即売会&学科企画
- *10:00～13:30 外部販売 (1階 家庭科実習室)



家庭総合科3年 守實 百音さん

	生製品即売会	学科企画
園芸科	格技場(1階)	格技場
生産技術科	理科室(2階)	生活技術科実習室(1階)
窯業科	格技場(1階)	なし
木工科	木工実習室(1階)	音楽室(2階)
家庭総合科	多目的ホール(1階)	多目的ホール
クリーニング科	なし	美術室(1階)
環境流通サポート科	多目的ホール(1階)	なし

*学科販売場所が変更になっている科があります。御確認ください。

13:50～14:10 フィナーレ

◎学科企画(模擬店)に関わるお願い

- 学科企画や外部物品販売により、軽食程度の飲食物販売が行われます。販売については前売り券を扱わず、当日現金販売とさせていただきますので、釣り銭のないよう御協力をお願いします。また数に限りがありますのを、ご了承ください。
- 生徒の昼食は、学年ごとに職員と取るようになっております。

◎学年発表に関わるお願い

- 上記の時間で各学年による舞台発表が行われますが、演目が早めに終了した場合は、順次繰り上げとなります。また、公演中の体育館の入退場を制限させていただきます。予め御了承ください。(幕間のタイミングなど見計らって、担当者が扉の開閉を行います。)
- 座敷席も用意しております。必要に応じて座布団や膝かけを御用意ください。

◎感染症予防対策に関わるお願い

- 上履き、下足入れ(ビニール袋)を御持参願います。また会場ではインフルエンザ等の予防

のため、消毒薬を準備しております。入場の際には手指の消毒をお願いします。

新篠津村ふるさと納税の返礼品について

副校長 佐伯正文

日頃からお世話になっている新篠津村と連携・協力し、本校の活動を広く知ってもらうことと地域貢献を目的に、生徒が作業学習で製作した製品を「新篠津高等養護学校 手作りセット」と名付け、今年度から新篠津村のふるさと納税の返礼品として出品・登録しました。

返礼品の内容と担当は、次のとおりです。

[No.5833-0170]新篠津高等養護学校手作りセット

園芸科：豆（2種類）、すき紙ミニ手提げバック、羊毛マスコット

生産技術科：コーヒー豆（ガテマラ 200g、コロンビア 100g）

窯業科：タンブラー（2個）

木工科：カッティングボード、キーホルダー

家庭総合科：ランチョンマット（2枚）、コースター（2枚）

環境・流通サポート科：のし紙

クリーニング科：挨拶状、箱詰め及び包装作業



今年度は、10 セットを準備し、9月末までの第1次申し込みでは、4セットの注文がありました。10月中に発送する予定です。また、第2次申し込みとして11月末まで残り6セットの注文を受け付けています。詳しくは、新篠津村ホームページ「ふるさと納税はこちらから」を御覧ください。

新篠津村ホームページ : <https://www.vill.shinshinotsu.hokkaido.jp/>

学校開放講座を終えて

総務部 油谷美恵子

夏休み中の7月26日（金）、新篠津村内の小学生を対象に学校開放講座を開催しました。今年度は、陶芸教室10名、木工教室8名、クッキング5名の参加で、初めて参加する児童、何回か参加したことのある児童と緊張しつつも楽しみな様子で、開講式が行われました。

陶芸教室では、「小皿・カップ」作りをしました。担当の先生の話真剣に聞き、優しく丁寧に粘土を扱い、それぞれの思いがこもったお皿を作りました。

木工教室では、「木の時計」を作りました。好きな色を絵の具で土台となる板に塗り、枝で飾り付けをしてとても素敵な時計を完成させました。

クッキングでは、「マシュマロを作ってパフェ」にしました。食紅を混ぜオリジナルのマシュマロを作りました。完成したパフェはとても可愛らしく笑顔で美味しく頂きました。

夏休みの貴重な一日を各講座で楽しく過ごすことができたのではないのでしょうか。元気いっぱい笑顔いっぱいの小学生の皆さんの一生懸命に頑張る姿でこちらも楽しい時間を過ごすことができました。短い時間ではありましたが、長い夏休みの楽しい思い出の1ページとなっていたら幸いです。



卒後支援「一泊旅行」

進路指導部 富山 聖子

7月20日(土)～21日(日) 定山溪温泉ホテル鹿の湯で一泊旅行を行いました。今年の参加者は、卒業生(22～24回生)61名、職員20名の計81名です。

札幌駅北口に13時30分に集合し、2台の大型バスに乗ってホテルに向かいました。ホテルに到着した後は、温泉街へ出かけ足湯を楽しんだり、ソフトクリームを食べたり、お土産を買ったりするグループやホテル内でおしゃべりを楽しんだり、早速温泉に入りに行ったりするなど各部屋毎にゆっくりと過ごしました。

18時からは今春卒業した木工科宮川さんの乾杯で宴会を開始、各回生代表による近況報告等を交え豪華なお膳を楽しみました。その後は回生を超えてカラオケやゲームセンターで盛り上がり、温泉や部屋で友達や先生と仕事や生活上の報告や悩みを話したりしていました。

一泊旅行で心身共にリフレッシュし「明日からまたがんばろう!」と思ってもらえたら嬉しいです。



サッカー部紹介「全国大会に向けて」

サッカー部顧問 松山 佳樹

今年7月に行われた「第11回北海道高等養護学校サッカー大会」で本校サッカー部は、創部初めての優勝を成し遂げ、令和2年2月に静岡県で開催される全国大会の出場権を勝ち取ることができました。この大会に向けて、5月から強化練習に取り組んできました。期間中、見学旅行や体育大会、宿泊研修などの行事がありましたが、「全国大会出場」という目標を全員が見失うことなく、毎回の練習を大事にしてきたことが結果に繋がったと感じます。

さらに、今年度から取り入れた「ヨガトレーニング」も大きな効果をもたらしたと思います。以前から総合的な学習の時間でお世話になっている「北海道CAPをすすめる会」の木村さんに来校していただき、大会前に数回15～20分程度のヨガトレーニングを実施しました。ヨガを通して呼吸法や体幹などについて学び、主にメンタル面のトレーニングをすることができました。試合会場でも全員で取り組み、緊張感が解けてリラックスできたり集中力を高めて目標を明確にしたりするなど、目には見えない効果が表れたと感じています。高等養護学校サッカー大会の決勝戦はPK戦までもつれる大接戦でしたが、1番手も2番手も冷静にゴールを決めることができました。これもメンタル面で成長した結果だと確信しています。



全国大会まで残り4ヶ月となりました。11月後半には屋外でトレーニングができなくなり、1月にはフットサルの大会も控え、本州の学校と比較するとハンデがあるかもしれません。だからこそ逆境を力に変え、新高サッカー部の底力を全国で見せつけてきたいと思います。「仲間への思いやり、相手選手へのリスペクト、周囲の方への感謝」の3つの気持ちを忘れることなく、これからも練習や大会に参加した

と思います。今後も新高サッカー部への御支援、御協力をよろしくお願いいたします。

2 学年職場・福祉事業所見学

2 学年担当 安達 知子

9 月末から始まった現場実習の事前学習として、将来の生活や就労に対する関心を高めること、自分の卒業後の進路について、具体的に考える機会とすること、現場実習に向けた意識の高揚を図ることを目的として、札幌、北広島、江別方面の職場や福祉事業所、生活の場としてのグループホームの見学に行きました。

7 月 18 日当日は、「一般就労を希望するグループ」、「就労継続支援 A 型を希望するグループ」、「就労継続支援 B 型を希望するグループ」の 3

つのコースに分かれ、各担当の方から説明を受け生徒からの質問にも答えていただき、生徒達は熱心にメモとっていました。どの職場の人もてきぱきと動いていて無駄がなかったと感想を話していたり、「ほう・れん・そう（報告、連絡、相談）」や「あいさつ、返事」が大事だと、働くうえで大切なことを知ることができました。また、グループホームでは、門限などのルールを守って生活することが大切だと知りました。



現場実習に臨む生徒たちにとって、実際に働いている様子を見学できたことはとても良い経験となりました。

この経験を現場実習に生かし、将来思い描く「なりたい自分」に少しでも近づいていって欲しいと願います。



青空まつり

PTA「新しのつ青空まつり」担当 坂口 浩隆



8 月 24 日（土）天候が心配されましたが、無事晴天の元「新しのつ青空まつり」が開催されました。昨年は、台風のため中止になっていたのが、天候良く開催されたことで大成功の気分が気持ちよく迎えられ一安心でした。新篠津高等養護学校からは、学科販売として「窯業科」と「家庭総合科」が出店し、PTA から「厚生部」がバザー品の販売を行いました。

学科販売は、「窯業科」から茶わん、小皿、ランプ類、「家庭総合科」からコースター、整理袋類を販売しました。大変好評で、たくさんのお客さんに見て頂き完売することができました。

PTA バザーは、「厚生部」で各御家庭から協力頂いた品物を販売しました。昨年中止だったため昨年販売することができなかった商品がたくさんあり、全ての商品を売り切ることはできませんでしたが、厚生部の保護者の頑張りにより多くの方々に買って頂くことができました。

毎年のことですが御協力ありがとうございました。また、来年も御協力をお願いいたします。



編集後記

朝晩の冷え込みで秋の深まりを感じる季節となりました。

昨年の秋は震災や台風で被害が続いたこともあり、何事もなく生活や学習ができる幸せを感じます。また、未だに日常を取り戻していない方、今年も被災された地域の方々にお見舞い申し上げます。

